第６次中期経営計画

(要約)

平成２５年５月１０日

上場会社名	東邦化学工業株式会社
上場取引所(所属部)	東証(市場第２部)
コード番号	４４０９
本社所在地	東京都中央区明石町６番４号
問合せ先	経営企画本部長代行
	牧　野　俊　樹（まきの　としき）
	Tel. (03)5550-3734

第６次中期経営計画

２０１３年５月１０日
東邦化学工業株式会社

当社グループは、この度平成 25 年度を初年度とする向こう３ヵ年を対象とする第６次中期経営計画を策定いたしました。

第５次中期経営計画を振返って

当社グループは、平成 24 年度末で第５次中期経営計画の３ヵ年を終了いたしました。
同計画では、経営基盤と収益力の一層の強化と企業価値の向上を目指し、海外市場への展開を中心に据え取り組んでまいりました。その重点課題として、①中国を中心とした海外市場の開拓強化、②販売戦略の強化、③研究開発力の一層の強化、④国内外の最適生産体制の構築、⑤世代交代、また数値目標として、連結売上高 400 億円、連結経常利益 19 億円、海外販売比率 17%を掲げ、取り組んでまいりました。

これに対し、東日本大震災や欧州債務危機など相次ぐ想定外の事態発生という厳しい環境もあって、最終年度となる平成 25 年３月期の業績は、連結売上高 351 億 82 百万円、連結経常利益 11 億 26 百万円、海外売上比率 12.3%、と数値目標を大幅に下回る、極めて不本意な結果となりました。

鹿島工場被災と主原料調達難という震災直後の重大危機においては、全社挙げての懸命な努力により、損害・悪影響を最小限にとどめて、乗り切ることができました。

また、成果としては、千葉工場の界面活性剤プラントや電材プラントの増設により、設備面で戦える体制を整えたこと、いくつかの大型開発製品の実績化ができたこと、中国市場を中心とする海外市場への橋頭保として計画中の中国（上海）工場建設が大きく前進したことであります。

新工場の稼働時期は、当初予定より遅れておりますが、既にハード面は竣工し、今後、試生産審査の手続きを経て、平成 25 年度後半には商業生産に入る予定です。

第６次中期経営計画

当社グループは、第５次中期経営計画の結果を踏まえ、平成 25 年度から平成 27 年度の３ヵ年を対象とする第６次中期経営計画を策定いたしました。本計画では、「スピード重視の経営」を推進し、経営の「見える化」と「選択と集中」の徹底に取り組み、全社を挙げての意識改革を図ってまいります。

数値目標として

第５次中期経営計画では果たせなかった連結売上高 400 億円超え、連結経常利益の最高益更新に再度挑戦いたします。

中期経営計画最終年度（平成 27 年度）	連結売上高	４２０億円
	連結経常利益	１８億円
	海外販売比率	１８％

主な重点課題として

① 上海工場の速やかな商業生産開始と安全操業に努め、早期黒字化を目指します。

② 国内営業部門と海外営業部門の一体運営化を含めた販売体制の強化を図り、特に中国市場を中心とする海外市場の開拓、拡販に注力します。

③ 高機能・高付加価値製品の研究開発を加速させるとともに、既存製品の製造方法見直しによる生産合理化を実現します。

④ 国内外問わずグループ全体での最適生産体制を構築し、市場環境の変化やＢＣＰ等に速やかに対応できる柔軟な生産体制を目指します。

⑤ 廃水・廃棄物処理費及び用役費の削減や原材料等調達コストの削減、並びに一般経費の削減等、全社的なコスト削減に努めます。

⑥ 世代交代の総仕上げと全社を挙げての意識改革を推進してまいります。

中でも、本中期経営計画における最重要課題は、上海工場の事業を円滑に立ち上げ、早期に軌道に乗せることであります。これに向け当社グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以　上